

OpenAI Deep Research

第4回日経統合報告書アワードに関する包括的な調査を行います。

この調査では、

- 受賞企業一覧
- 評価基準や審査方法
- 過去の受賞企業との比較
- 授賞式の詳細や開催日
- 主催者のコメントや背景情報

などをまとめ、詳細なレポートを作成します。

調査が完了次第、ご報告いたしますので、しばらくお待ちください。

## 日経統合報告書アワードの概要と目的

日経統合報告書アワードは、日本企業が発行する統合報告書の質向上と普及促進を目的に日本経済新聞社が主催する表彰制度です（[「第4回日経統合報告書アワード」において総合グランプリを受賞](#)）。もともとは1998年創設の「日経アニュアルリポートアワード」で、財務報告中心の年次報告書を対象としてきましたが、近年のESG（環境・社会・ガバナンス）など非財務情報の重視を受けて、2021年に現在の「日経統合報告書アワード」へと改称・刷新されました（[統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#)）。統合報告書とは企業の財務・非財務情報を一体的に示し、企業価値向上のストーリーを伝える報告書であり、本アワードはその優れた事例を選出・表彰するものです（[統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#)）。主催は日本経済新聞社で、金融庁・経済産業省・日本公認会計士協会が後援しています（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）。

## 第4回（日経統合報告書アワード 2024） 受賞企業一覧

**\*\*第4回日経統合報告書アワード(2024年度)\*\***には過去最多の496社・団体が参加し、厳正な審査の結果、以下の各賞の受賞企業が選ばれました ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))。

- **総合グランプリ(最高賞)** - 3社が受賞。受賞企業は [丸紅株式会社](#) ([「第4回日経統合報告書アワード」において総合グランプリを受賞](#))、[株式会社デンソー](#) ([Denso received the grand prize at the 4th Nikkei Integrated Reporting Award.](#))、[日本ペイントホールディングス株式会社\(日本ペイントHD\)](#) ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))の3社です。これらは統合報告書の総合的な完成度が特に高い企業として最高位に選ばれました。日本ペイントHDは前年の第3回でグランプリG賞(総合2位)を受賞しており、今回は連続受賞で最高賞に至っています ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))。デンソーも「企業価値創造ストーリーを詳細な定量・定性データで説明した非常に完成度の高い報告書」と評価され、総合グランプリに輝きました ([Denso received the grand prize at the 4th Nikkei Integrated Reporting Award.](#)) ([Denso received the grand prize at the 4th Nikkei Integrated Reporting Award.](#))。
- **グランプリE賞(環境)** - 1社が受賞。環境分野の情報開示が特に優れた統合報告書に贈られる賞で、第4回では1社が選出されています ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))。(※社名非公表)
- **グランプリS賞(社会)** - 2社が受賞。社会的価値創造や人的資本など「社会」面の開示が優れた企業に贈られる賞で、[積水ハウス株式会社](#)の統合報告書「VALUE REPORT 2024」など2社が選ばれました ([積水ハウス、「日経統合報告書アワード 2024」においてグランプリS賞を受賞 積水ハウス株式会社 | 共同通信 PR ワイヤー | 下野新聞デジタル](#)) ([積水ハウス、「日経統合報告書アワード 2024」においてグランプリS賞を受賞 積水ハウス株式会社 | 共同通信 PR ワイヤー | 下野新聞デジタル](#))。積水ハウスは審査項目の10テーマすべてで平均を上回り、5段階評価で最高位のA+評価を獲得してグランプリS賞を受賞しています ([積水ハウス、「日経統合報告書アワード 2024」においてグランプリS賞を受賞 積水ハウス株式会社 | 共同通信 PR ワイヤー | 下野新聞デジタル](#))。
- **グランプリG賞(ガバナンス)** - 1社が受賞。コーポレートガバナンスに関する記載内容が特に充実している企業に贈られる賞で、第4回では[栗田工業株式会社\(クリタ\)](#)の「クリタグループ統合レポート 2024」が選ばれました ([「第4](#)

[「第4回日経統合報告書アワード」において「グランプリ G 賞」を受賞 | ニュース | 栗田工業 | クリタグループ](#)。グランプリ G 賞は総合グランプリに次ぐ高い品質を持ち、特にガバナンス面で評価された報告書に与えられる賞です ([「第4回日経統合報告書アワード」において「グランプリ G 賞」を受賞 | ニュース | 栗田工業 | クリタグループ](#))。

- **準グランプリ - 6社**が受賞。総合グランプリに次ぐ優れた統合報告書を発行した企業として、[富士通株式会社 \(Fujitsu Receives Semi-Grand Prize in the NIKKEI Integrated Report Award 2024 : Fujitsu Global\)](#)、[伊藤忠商事株式会社 \(2年連続受賞\) \(GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に最多得票で選出、更に「第4回日経統合報告書アワード」において「準グランプリ」を受賞 | プレスリリース | 伊藤忠商事株式会社\)](#)、[旭化成株式会社 \(『第4回日経統合報告書アワード』準グランプリを受賞 | 2024年度 | ニュース | 旭化成株式会社\)](#)、[SWCC株式会社 \(昭和電線ホールディングス\)](#)など6社が準グランプリに選出されています(他2社も選出) ([GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に最多得票で選出、更に「第4回日経統合報告書アワード」において「準グランプリ」を受賞 | プレスリリース | 伊藤忠商事株式会社](#)) ([『第4回日経統合報告書アワード』準グランプリを受賞 | 2024年度 | ニュース | 旭化成株式会社](#))。例えば伊藤忠商事は事業の投資・撤退基準やROE等の指標を明確に示した点が評価され、2年連続で準グランプリを受賞しました ([GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に最多得票で選出、更に「第4回日経統合報告書アワード」において「準グランプリ」を受賞 | プレスリリース | 伊藤忠商事株式会社](#)) ([GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に最多得票で選出、更に「第4回日経統合報告書アワード」において「準グランプリ」を受賞 | プレスリリース | 伊藤忠商事株式会社](#))。旭化成も「旭化成レポート2024」が高評価を受け準グランプリとなっています ([『第4回日経統合報告書アワード』準グランプリを受賞 | 2024年度 | ニュース | 旭化成株式会社](#))。
- **新人賞 - 1社**が受賞。初めて統合報告書を発行しアワードに参加した企業の中から、最も優れた事例に贈られる賞で、第4回では1社のみ選ばれました ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))。(※新人賞受賞企業名は非公表)
- **優秀賞 - 46社**が受賞。上記各賞には届かないものの優れた統合報告書として評価された企業に贈られる賞で、第4回では過去最多の46社が選出されています ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))。優秀賞受賞企業には、例えば[村田製作所](#)(4年連続受賞) ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「優秀賞」を受賞 |](#)

[TDK](#)）、[TDK 株式会社](#)(3年連続受賞) ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「優秀賞」を受賞 | TDK](#))、[キリンホールディングス](#)(初受賞) ([「キリングroup「統合レポート2024」が「第4回日経統合報告書」](#)...)、[本田技研工業](#)(ホンダ)(初受賞) ([「統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#))など、多種多様な業種の企業が名を連ねました。各社とも自社の統合報告書において企業理念や経営戦略とESG課題との統合、トップメッセージの充実、財務・非財務情報のバランスの良い開示などが高く評価されています ([「第4回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞\(2025年3月12日\) | ニュース | エプソン](#)) ([「第4回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞\(2025年3月12日\) | ニュース | エプソン](#))。

## 評価基準・審査方法

**審査方法:** 第4回アワードでは、金融機関のファンドマネージャーや株式アナリスト、学識経験者などからなる審査委員団が実際に各社の統合報告書を精読し、二段階の厳格な審査を経て受賞候補を選定しました ([Nippon Paint Receives Grand Prize at the 4th NIKKEI Integrated Report Awards | NIPPON PAINT HOLDINGS CO.,LTD.](#)) ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))。一次審査・二次審査を通じて、多面的な評価が行われます ([「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#))。このように運用のプロや専門家が審査に関わる体制とすることで、公平性と専門性を担保しています。

**評価基準:** 統合報告書の内容を\*\*「企業価値向上ストーリー」や「財務・非財務情報の開示の充実度」など投資家が注目するポイントから総合評価し、優れた事例を選出する仕組みです ([「統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#))。ESG(環境・社会・ガバナンス)要素を含む企業価値情報を包括的に評価するため、約10の評価テーマが設けられており、それぞれ5段階(A+~C等)のスコアで採点されます ([「積水ハウス、「日経統合報告書アワード2024」においてグランプリS賞を受賞 積水ハウス株式会社 | 共同通信 PR ワイヤー | 下野新聞デジタル](#))。例えばトップマネジメントメッセージの明瞭さ、事業戦略やビジネスモデルの説得力、重要課題(マテリアリティ)への対応、リスク・機会の開示、コーポレートガバナンスの説明、人的資本や知的財産の情報など、多岐にわたる項目で評価されます。第4回では、各評価項目で平均を上回り総合評価A+を獲得した報告書がグランプリ各賞に選ばれています (

[合報告書アワード 2024](#)」において[グランプリ S 賞を受賞 積水ハウス株式会社 | 共同通信 PR ワイヤー | 下野新聞デジタル](#)。審査員コメントによれば、「経営トップのメッセージが力強く、事業モデルや戦略が業績に裏付けられて説得力がある」「財務と非財務情報のバランスが良く、読み手に分かりやすい構成」「マテリアリティや KPI の開示方法に優れ、概念的な事項も平易に言語化しようと努めている」などが高評価のポイントとなっています（[「第 4 回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞\(2025 年 3 月 12 日\) | ニュース | エプソン](#)）（[「第 4 回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞\(2025 年 3 月 12 日\) | ニュース | エプソン](#)）。このような観点で、統合報告書が「投資家との対話のツール」としてどれほど有用か\*\*が審査基準の根底にあります（[統合報告書「Honda Report 2024」が第 4 回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#)）。

## 過去の受賞企業との比較・傾向の変化

第 4 回（2024 年度）アワードは前年に比べ参加企業数・受賞企業数とも増加し、表彰カテゴリーも拡充されました。参加企業数は前回の 475 社から 496 社へと増え過去最多を更新しています（[双日、「第 3 回日経統合報告書アワード」優秀賞を受賞 | 双日株式会社のプレスリリース](#)）（[「第 4 回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#)）。それに伴い、優秀賞受賞企業も 42 社から 46 社へ増加しました（[双日、「第 3 回日経統合報告書アワード」優秀賞を受賞 | 双日株式会社のプレスリリース](#)）（[「第 4 回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#)）。これは年々統合報告書に取り組む企業が増え、全体的なレベルも底上げされている傾向を示しています。

また、第 3 回（2023 年度）まで存在していた「特別賞」の枠組みが再編され、第 4 回では ESG 別のグランプリ（E・S・G 賞）および新人賞が新設・明確化されました（[双日、「第 3 回日経統合報告書アワード」優秀賞を受賞 | 双日株式会社のプレスリリース](#)）（[「第 4 回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#)）。例えば第 3 回では「グランプリ 3 社、準グランプリ 6 社、特別賞 6 社、優秀賞 42 社」という構成でした（[双日、「第 3 回日経統合報告書アワード」優秀賞を受賞 | 双日株式会社のプレスリリース](#)）が、第 4 回では特別賞が細分化され「グランプリ E・S・G 賞（計 4 社）と新人賞 1 社」に置き換わっています（[「第 4 回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス](#)）。この変更により、それぞれ環境・社会・ガバナンス面で秀でた報告書が誰の目にもわかる形で表彰されるようになり、企業も自社の強みをより明確に発信する動機づけとなりました。新人賞の創設も、初挑戦の企業を奨励し統合報告書の裾野拡大を図る狙い

があります。実際、第4回ではホンダやキリンHDなど初めて統合報告書を発行した（あるいは初参加した）企業が優秀賞に選ばれるなど、新規参入組の健闘も見られました（[統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#)）（[2024年統合報告書『WE ARE GREEN REPORT』「第4回日経統合報告書アワード2024」優秀賞を2年連続で受賞 | 東急不動産株式会社のプレスリリース](#)）。一方で伊藤忠商事やTDK、村田製作所、双日など複数年連続で受賞している企業もあり、これらの企業は継続的に統合報告書の改善に努め高い評価を維持しています（[「第4回日経統合報告書アワード」にて「優秀賞」を受賞 | TDK](#)）（[双日、「第3回日経統合報告書アワード」優秀賞を受賞 | 双日株式会社のプレスリリース](#)）。例えば伊藤忠商事は第3回・第4回と2年連続で準グランプリを受賞し、TDKや村田製作所は第1回以来毎年優秀賞以上を獲得しています（[「第4回日経統合報告書アワード」にて「優秀賞」を受賞 | TDK](#)）。このように受賞常連企業と新たに台頭する企業が混在するのも近年の特徴であり、全体として統合報告書の水準が着実に向上していることが伺えます。

## 第4回表彰式の詳細（開催日・形式など）

第4回アワードの表彰式および記念セミナーは、2025年3月12日（水）13:00～16:10に開催されました（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）。会場はオンライン形式で、どなたでも無料で視聴参加できる形が取られました（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）。表彰式はセミナーと一体となったイベントとして実施され、「どこにいく統合報告書 ～高まる期待にどう応えるべきかを考える～」と題したパネルディスカッションや基調講演が行われています（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）。開会にあたり岸田文雄 前内閣総理大臣からのオープニングスピーチも披露され、統合報告書の充実に対する社会的関心の高さがうかがえる場面となりました（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）。基調講演では「企業の持続的な価値創造を実現する情報開示」と題し、有識者（KPMG ジャパン・シニアアドバイザー 中島淳一氏）が企業の情報開示の在り方について講演しています（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）。さらに金融庁、経産省、日本公認会計士協会の担当官らによるパネルディスカッションや、IFRS財団による統合報告に関する最新動向の紹介などが行われました（[【オン](#)

[ライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)。15時からの表彰式では受賞企業の紹介や総合グランプリ企業によるスピーチがあり、受賞各社が自社の統合報告書作成への取り組みや今後の抱負を語りました（[『オンライン開催』第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）。オンライン開催ながらも盛況のうちに終了し、イベントを通じて参加者は統合報告書のベストプラクティスや今後の方向性について理解を深める機会となりました。

## 主催者のコメント・背景情報

主催者である日本経済新聞社は、本アワードの意義について「統合報告書を通じて企業と投資家の建設的な対話を促進し、企業価値の向上に資する情報開示を後押しすること」にあると述べています（[「第4回日経統合報告書アワード」において総合グランプリを受賞](#)）。統合報告書は財務情報だけでなく気候変動対応や人材戦略など非財務情報を包含し、企業の長期ビジョンや持続的成長戦略を投資家に伝える重要なツールです（[統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#)）。同アワードはそのような\*\*「統合思考」に基づく経営情報開示の優れた手本を表彰・共有することで、他企業にも改善を促し日本企業全体の情報開示水準を高める狙いがあります（[統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#)）（[「第4回日経統合報告書アワード」において総合グランプリを受賞](#)）。実際、第4回の審査講評でも「トップマネジメントの強いメッセージ性」「財務・非財務を統合した説得力ある価値創造ストーリー」「ガバナンス強化への具体的取り組み」などが高評価ポイントとして挙げられており（[「第4回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞\(2025年3月12日\) | ニュース | エプソン](#)）、こうした優良事例を業種横断で知る機会は企業にとって有益です。主催者は「統合報告書の更なる充実と普及」という当初からの目的のもと、審査体制の強化（専門家の多層的審査）や表彰カテゴリーの見直しを行いながら本アワードを発展させてきました（[「第4回日経統合報告書アワード」にて「優秀賞」を受賞 | TDK](#)）。第4回の結果を受け、日本経済新聞社は「受賞各社の取り組みを広く紹介し、他社の手本として役立てたい」とコメントしており、企業価値向上に向けた情報開示の好循環を生み出す場として今後も本アワードを継続していく意向です。受賞企業も「本アワードでの評価を励みに、統合報告書の更なる改善とステークホルダーとの対話充実に努める」と表明しており（[「第4回日経統合報告書アワード」において「優秀賞」を受賞 | 東京応化工業株式会社](#)）、統合報告書を軸に企業と投資家の双方が価値向上へ向けた歩みを進めていることがうかがえます。各賞の発表と表彰式を通じて、統合報告書が単なるIR資料に留まらず企業と社

会をつなぐコミュニケーションツール\*\*としてますます重要性を増している背景が浮き彫りになりました（[「第4回日経統合報告書アワード」において総合グランプリを受賞](#)）（[「第4回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞（2025年3月12日） | ニュース | エプソン](#)）。

**Sources:** [第4回日経統合報告書アワード各種プレスリリース・ニュース（「第4回日経統合報告書アワード」にて「総合グランプリ」を受賞 | 日本ペイントホールディングス）](#)（[「第4回日経統合報告書アワード」において総合グランプリを受賞](#)）（[統合報告書「Honda Report 2024」が第4回日経統合報告書アワード 優秀賞を初受賞 | Honda 企業情報サイト](#)）（[積水ハウス、「日経統合報告書アワード 2024」においてグランプリ S 賞を受賞 積水ハウス株式会社 | 共同通信 PR ワイヤー | 下野新聞デジタル](#)）（[「第4回日経統合報告書アワード」において「グランプリ G 賞」を受賞 | ニュース | 栗田工業 | クリタグループ](#)）（[GPIF の国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に最多得票で選出、更に「第4回日経統合報告書アワード」において「準グランプリ」を受賞 | プレスリリース | 伊藤忠商事株式会社](#)）（[『第4回日経統合報告書アワード』準グランプリを受賞 | 2024年度 | ニュース | 旭化成株式会社](#)）（[「第4回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞（2025年3月12日） | ニュース | エプソン](#)）（[「第4回日経統合報告書アワード」において優秀賞を受賞（2025年3月12日） | ニュース | エプソン](#)）（[積水ハウス、「日経統合報告書アワード 2024」においてグランプリ S 賞を受賞 積水ハウス株式会社 | 共同通信 PR ワイヤー | 下野新聞デジタル](#)）（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）（[【オンライン開催】第4回『日経統合報告書アワード』表彰式・セミナー | 日経イベント&セミナー](#)）（[双日、「第3回日経統合報告書アワード」優秀賞を受賞 | 双日株式会社のプレスリリース](#)）（